

令和4年3月23日

## 3月の木材価格・需給動向

### 1. 国産材(北関東)

栃木県では原木生産は順調である。3共販所で特別市が開催され、入荷量はスギ中目材を中心に増加。地域によっては小径木が多く入荷している。引取材がだぶつき始め土場を圧迫している。スギ、ヒノキ原木ともに弱気配で推移。スギ3m柱材は2月後半から下げ始めた。ヒノキ4m土台材(16~20cm)が何とか横ばい。

群馬でも原木入荷は順調で集荷も容易。原木価格は下落傾向にある。首都圏からの貫、胴縁の引き合いは依然多い。土木用材の引き合いも回復した。プレカット工場への納材が増加し、構造材の在庫が減少。受注は順調だが、先行きは不透明。製品価格は高値安定で一服感がある。土木用材の価格が上昇傾向にある。

### 2. 米材

産地では原木価格が1月に急騰し、史上最高水準に高騰した後、高原状態の横ばい推移である。天候の影響が大きかったカナダでは原木不足が深刻で、一部製材工場は米国から原木を購入している状態。米国での伐採は順調である。港頭在庫の積み上げまでには至っていないが、輸出用原木が不足する状況にはない。米マツIS級並の3月対日輸出価格(推定)は\$75アップの\$1,350/千SCRになった模様。1月に\$300の分割値上げ方向であったが、2月に海上運賃が急上昇したため、\$200と全額\$300の転嫁にはならず、4月の上昇もほぼ確定である。米国の製材品市況は需要が好調なため今年の最高値に近い水準になっている。ランダムレングス紙発表の15種平均価格(3/7)は\$1,326/Mで2月頭に比べ8.1%の上昇。第2・四半期のSPFの対日輸出価格は先行して\$1,500レベルで出始めており、再び上昇局面となる。

1月原木入荷は187千 $m^3$ と復調、前年同月比10.7%増、出荷は159千 $m^3$ となり入超、同10.4%増。在庫は増加し146千 $m^3$ 、在庫率は0.83ヵ月と1ヵ月割れが続く。国内米材工場では角類の動きは依然好調だが、羽柄類が低調。東京木材埠頭の2月製品入荷は9千 $m^3$ (前月比54.1%減)、出荷は18千 $m^3$ (同21.4%減)、在庫は46千 $m^3$ (同15.3%減)。2月はバルク船の入港がなく在庫量は減少。対日米マツ原木価格の大幅な上昇により国内製材メーカーの値上げは必至である。国内最大手のアナウンスは未だないが、価格改定が予想さ

れる。

### 3. 南洋材

サラワク州では雨期が明けず、原木生産は低調である。FOB 価格は US\$10～15/m<sup>3</sup>の上昇となっている。PNG では天候が悪く原木生産は低調。サバ州では1月から原木輸出が再開され、日本の商社数社が契約交渉している模様だが、具体的な話にはなっていない。コンテナ不足は依然解消されていない。フリー板のマーケットは非常に悪く、価格が下がり始めた。ただし、ロシア・ウクライナ情勢もあり、中国では原料不足になる可能性が大きい。3月予想の原木入荷は0千m<sup>3</sup>、出荷は1千m<sup>3</sup>、在庫1千m<sup>3</sup>。製材品入荷は33千m<sup>3</sup>。

### 4. 北洋材

12月以降、買い気のない日本側と値下げしたくない産地側で綱引き状態が続き、ほとんど成約できない状況が3ヵ月続いたが、ロシア・ウクライナ情勢で雰囲気は一転した。双方で価格を譲歩し、「出荷できるものは出荷しよう」のムードに変わってきた。しかし銀行の SWIFT 制限や海運大手のロシア貨物 BOOKING 停止もあり、出荷できるか混乱中。現状では現地シッパーの対日生産意欲は途絶えていないが、中国シフトがさらに強まる可能性がある。国内では製材品の荷動きは低調であったが、ここに来て一時的に仮需が発生し、価格は10,000円/m<sup>3</sup>程度の急上昇である。国内製材工場のDIY向け出荷は依然低調だが、流通筋からの引合いが急速に増えている。1月の製品入荷(東京+川崎)は20千m<sup>3</sup>、出荷は14千m<sup>3</sup>で依然低調。在庫は44千m<sup>3</sup>と増えている。在庫量は2月末がピークでその後、ウクライナ情勢の影響で急速に減少することも予想される。

### 5. 合板

合板用原木の国産材価格は1～2月に大幅な上昇。出材期のため合板工場の在庫はスギが増加したが、カラマツは引き続き不足。北米材の大幅な上昇を受け、ロシア単板の大幅な値上げの打診があった。ウクライナ侵攻による金融制裁で外貨決済が出来なくなった場合、単板の取引が継続されるかは不透明である。

1月の国内合板生産量は24.3万m<sup>3</sup>、うち針葉樹合板は22.3万m<sup>3</sup>、出荷量は24.77万m<sup>3</sup>で在庫量は9.1万m<sup>3</sup>、うち構造用合板の在庫は7.3万m<sup>3</sup>とかなりの低水準。各メーカーは今年前半の受注を抱えてフル生産であるが、需要が旺盛なため不足感が継続している。労働時間の短縮と作業員不足、原木・単板の原料不足、原木高、東北での大雪による原木の入荷遅れ等で生産量が伸び

ない。針葉樹合板は在庫不足で、強含みが継続するだろう。輸入合板は産地価格の上昇に円安が加わり値上げが続いている。針葉樹合板の品薄により12mm系の引き合いが旺盛である。普通合板は入荷増で当用買いに転じている。12月の合板輸入量は25.6万m<sup>3</sup>で中国、ベトナム産が高水準の入荷(LVLの急増)、マレーシア産は前月比大幅増、インドネシア産は前月比微減。インドネシアでは北米、日本からの堅調な引き合いで合板価格は高値を更新中。マレーシアの工場では原木在庫の不足が深刻で、生産量を40%ダウンした工場も見られ、生産量は頭打ちないし減少傾向にある。

## 6. 構造用集成材

ラミナは、遅延のコンテナ船が一時的にまとまって入港し、一部港での保管となっている。ウクライナ情勢の影響でウクライナ製ラミナの輸出港であるオデッサ港からの出港が禁止となった。今年第1・四半期の契約価格は約€50/m<sup>3</sup>以上の値上げが予想され、契約量も例年の70%程度が濃厚である。現在消費のラミナは昨年第3・四半期契約分の€600/m<sup>3</sup>を超えるもので、原価は工場着90,000~100,000円/m<sup>3</sup>。輸入集成材も遅れていたコンテナ船が入港し、1月の輸入量は8.5万m<sup>3</sup>と多い。予定国内流通価格は145,000円/m<sup>3</sup>周辺。

## 7. 木材チップ(東海)

チップ原木は製紙・バイオマス用とも引き合いは強いが、発生・入荷ともに低調。解体材も発生・入荷ともに低調、先行きの仕事量も二極化の傾向にある。また作業員不足の声も聞かれ、結果としてタイト感が強い。製紙用では国産針葉樹チップの増集荷基調は継続しているが、依然タイト感は解消されない。燃料用は各社冬期のボイラーの燃料消費量が旺盛なため木質以外の代替燃料

## 8. 市売問屋

構造材では国産材のKD材はまとまって動く気配はないが、KD材の高値安定相場は浸透してきている。外材ではロシア材に仮需が起こっている。造作材では製材所からGR材の値上げを迫られており、値上げは必至である。また外材造作材も並材の集荷に各市場とも苦労している。

## 9. 小売

例年は仕事が出てくる時期であるが、新規の見積は多くなく、先行きは不透明。ヒノキ土台角、柱角は弱含み推移だが、スギ製品は原木不足の影響で強含みのまま。欧州材、ロシア材は高値横ばいであるが、産地情勢や流通に不透明感が出ており、早めの手当てを呼びかけている。米材製品はある程度在庫を持ったため落ち着いている。羽柄材の荷動きは全体に落ち着いており、米材は高値保合、欧州材も代替材へのシフトが進み保合。造作材は年度末を迎え、羽目板や集成フリー板が動いた。

参考資料

(一財)日本木材総合情報センター

令和4年3月23日

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	→
北洋材	丸太	輸出禁止	*	*
	製材品	↘	↗	↘
南洋材	丸太	↘	↘	→
	製材品	→		

注)北洋製材品は東京・川崎

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記の様に示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸入量		
	計	インドネシア	マレーシア
↘	↗	↘	↗

3. 価格動向

樹材種	形状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材 (3m) 2等	↘
			スギ中丸太 (3.65m) 2等	→
			ヒノキ柱材 (3m) 2等	↘
			ヒノキ中丸太 (4m) 2等	↘
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 (KD) 10.5×10.5×3m 特等	→
			スギ柱角 (KD) 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ間柱 (KD) 10.5×3.0×3m 特等	→
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギタルキ 3.0×4.0×3.65m	↗
ヒノキ柱角 (KD) 10.5×10.5×3m 特等	→			
ヒノキ柱角 (KD) 12.0×12.0×3m 特等	→			
ヒノキ土台角 12.0×12.0×4m 特等	→			
米材	丸太	産地価格	米マツ ISタイプ	↗
		国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ ISタイプ コースト	↗
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角 (KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	→
			SPF 2×4 J-Grade R/L	↗
			米ヒバ土台角 (GR) Std&Btr 4・13/16'' 13'	→
米マツ平角 (KD) 特等 10.5×24.0×4m	→			
南洋材	丸太	産地価格	メランティレギュラー	→
		東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用 メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→
	製材品	産地価格	ホワイトセラヤ 平割 (サバ州産)	↗
		東京・問屋店頭 渡し価格	同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	↗
北洋材	製材品	国内卸売価格 (京浜・オントラ)	アカマツ (KD) 30×40上級 アカマツ (KD) 16×40上級	↗
		東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 3.0×10.5×3m S4S FOHC ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	→
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ スギ 無化粧 JAS 5プライ	→
		10.5×10.5×2.98m	→	
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6 タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6 型枠 12.0mm厚 3×6 針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	↗
	欧州産	//		→